

令和2年度 南日本放送との連携事業

	取組内容	事業内容・連携内容
1	連携科目「地域とマスメディア」	
	①5月11日（月）「防災・ラジオ番組について」 ラジオアナウンス室 防災キャスター村上隆二氏 ②6月1日（月）「ニュースについて」 報道部キャスター 岩崎全智氏 ③6月8日（月）「アナウンサーの仕事」 アナウンス部 岡田祐介氏 ④6月15日（月）「インターネットの取組」 デジタルメディア部 白坂麻生氏 ⑤6月29日（月）「番組制作の裏側」 テレビ制作部 ディレクター 水野俊彦氏	教養学科では、地域社会におけるマスメディアの役割や職業への理解を深め、コミュニケーション能力を高めることを目的として、MBC南日本放送との連携科目「地域とマスメディア」を実施している。毎回MBCより報道記者やアナウンサー等を講師として招き、地域に根差した放送局の仕事情や報道の仕組みを知り、番組制作に参加するなどの体験学習を通して、地域活性化について考える機会を提供している。
2	「鹿児島県産品応援市」イベント運営協力	
	日 時：11月7日（土）、8日（日） 場 所：ウォーターフロントパーク 参加者：教養学科1年生25名	コロナ禍の中、感染症対策を講じた「新しい形式」の物販イベントと開催された「かごしま県産品応援市」への運営協力。本学の学生は主にドライブスルーによる物品販売所において接客を行い、SNSを通して若者の目線から物品の魅力を発信し、販売を促進した。
3	アジア・鹿児島Share the Taste プログラム	
	日 時：10月18日（日）、10月31日（日）、11月7日（土） 場 所：かごしまキッチンほのほの 参加者：食物栄養学専攻3名 内 容：食を通じた国際交流を目指した料理ワークショップ	アジアと鹿児島の国際交流を図ることを目的に実施された食のワークショップに、本学学生3名が参加した。各々の食文化や食材について学んだ後、新たな融合料理を考案し発表会を行った。3回のワークショップを通して、両国の交流を深めることができた。
	「アジアのおいしいを発見！～アジア・鹿児島シェアザテイスト～」の様子がMBCテレビで紹介 放映日：令和3年1月17日（日）11:00～11:30 参加者：本学学生3名（食栄1年） ※児玉先生が審査員として企画協力 概 要：食を通じた国際交流を目指した料理ワークショップ	上記のワークショップの一連の様子がテレビで放映された。
4	プロモーションムービー制作：鹿児島市「マグマやきいも電車」	
	日 時：令和3年3月4日（木） 場 所：鹿児島市電「マグマやきいも電車乗車」 参加者：教養学科4名（地域メディア研究サークル） 内 容：イベント紹介映像のエキストラ出演	鹿児島市交通局が企画した「マグマやきいも電車」のプロモーションムービーをムービーをMBCが制作することとなり、本学「広報メディア研究サークル」の学生四名がエキストラとして参加した。ムービーは鹿児島市のホームページからもリンクする形で公開され、本企画の楽しさを多くの人々に告知することができた。